		公表 事業	所におい	お自己部	平価結果	
and a			7/11/2007	, 9HO	I IMPERIOR.	
354	副所名	ひぶみ長野福業教室			公表日	
	1	チェック項目 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	2	いいえ 7	工夫している点 ・個別スペースがないが、必要に応じてスクッフ ルームや無段を活用している。	課題や改高すべき点 ・変異でご利用されるとスペースが扱いと思う。 ・個別支援が必要なお子さんに対し別変がない。
		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である				<ul><li>改善:カーテンでは切るなどグループに分かれて根拠がる 定期ができるとよかそう。</li><li>やや不足無味だと思う。</li><li>人数は見りている一方で、一般のお子さんに対応</li></ul>
a	2	か。 生活で間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている	8	1	・毎3期やカードでの視覚支援、スケジュールの視覚化を	<ul> <li>人数は足りている一方で、一部のお子さんに対応 できるスタップが限られている。</li> </ul>
体制整備	3	か、また、事業所の投稿等は、障害の特性におじ、パリアフリー化や 情報伝達等、環境上の配象が適切になされているか。	7	2	行っている。 ・運動スペースと学習スペースのマットを告かけしてい る。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こごも適の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	<ul><li>・使い終わったものはすぐに片付けるよう日々声を 掛けている。</li><li>・毎日の道線・消毒を行なっている。</li></ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3		<ul><li>仮制で格ごせる空間や報談室がなく、やむを得す スクップルームや階段を活用している。刺激となる</li></ul>
	6	最務改高を進めるためのPDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、	8	1	<ul><li>すべての機員が支援記録を記入している。</li></ul>	物が多いので別室があると望ました。 改善:個々のスタッフの目標設定や高級が定期的に
果務改品	0	広く職員が参画しているか。 保護者等の根約等を把握する機会を設けて			<ul><li>・月に一夜のエーティングを行っている。</li><li>・支援計画を作成するにあたり保護者へのアンケー</li></ul>	あると向い
	7	おり、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・ 支援計画を行成することとり発展をへのアンケートを取っている。	
	8	職員の根別等を把握する機会を設けており、その内容を順務改善につ なけているか。	9	0	・職員勢のコミュニケーション人が進んであり、意 見を取り入れですい機場程度である。	
_	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を単摂改高につなげている か。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研 値を開催する機会が確保されているか。	8	0	- 月に1度は研修に参加をするスクッフがいる。FC 研修の動画網路でいつでも学べる機会がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<ul><li>すぐに確認ができる場にプログラムがまとめられ</li></ul>	
		個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者の			ている.	
	12	ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 作成しているか。 始課金第デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・保護者、学校との意見をすり合わせている。	
	13	放揮後サテイワーに入町面を作成する際には、光重発差を残る理算性 着だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通逻辑の下で、こども の最高の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	<ul><li>教室ニーティングや日々の引継ぎで、支援における配慮する点などを統一できるようにしている。</li></ul>	
	14	放廃後等デイサービス計画が個質額に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	8	0	・月に一夜のニーティング、日々の引継ぎを通じて 情報の共称を行っている。	
	15	こどもの週辺行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ	8	0		
	H	スメントを使用する等により確認しているか。 放揮後等デイサービス計画には、放揮後等デイサービスガイドライン				
	16	の「放揮後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「車 族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支 援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定さ	8	0		
周切	H	れ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			With the Co. 100 and 1	
な交響	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・運動あそびの考案を模数人のスタップで回し、通 昔わりで行なっている。	
援の契	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	<ul><li>通ごとに運動プログラムを変えている。</li><li>長期休みは、活動がマンキリ化しないよう計画し 社会参加に繋がる機会も作っている。</li></ul>	<ul> <li>支援スペースの下十分さから、できる活動が限られてしまう。</li> </ul>
z H	19	こどもの状況に応じて、個別活動と単江活動を適宜組み合わせて放揮 条等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2		
関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	9	0	<ul><li>・支援的には必ず申し送りをし、職員全員で情報を 共和している。</li></ul>	
		か。 支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の			<ul><li>・担当の確認を行っている。</li><li>・必ずしも支援終了後に行うのは難しいが、毎日の</li></ul>	
	21	振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	支援制の引継ぎて前回の様子や配導する点を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	8	0		改善: 支援機の前に多くのスタッフで対象児童を終 り返り、簡単書きでまとめられると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、故障後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放揮後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 会わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定	8	0	<ul> <li>と人な形であれば参加や付付けができるかをお子</li> </ul>	
		をする力を育てるための支援を行っているか。 応書売相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、			さんと考えられるようにしている。	
	26	そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・定期的な支援会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・定期的な支援会議に参加している。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、ごどもの下校時刻 の確認等)、連絡問数(逃迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を選 切に行っているか。	9	0	<ul><li>複数のスタッフで確認を行っている。</li><li>・胎構応受な対応ができている。</li></ul>	
	29	数字前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	事業所等といいで、 学校を平単し、放課後等デイサービスから提書福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を受供する等している	7	1		
	30	tr.		1		
	31	市場の児童発達支援センターとの連携を関り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	放揮後児童クラブや児童婦との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	3	6		
	33	(自立支援) 協議会等へ機働的に参加しているか。	s	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課	9	0	<ul> <li>送記時にその日のお子さんの様子や出来事を掲載 さんに口張で伝達している。</li> </ul>	
		地について共通理解を持っているか。 車振の対応力の向上を図る観点から、車振に対して車振支援プログラ			enting completions.	
	35	ム (ベアレント・トレーニング等) や車振等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	5	3		
	36	薬営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な批明を行っているか。	6	1	<ul><li>通動にて利用者負担がある際には、事前に伝達を している。</li></ul>	
	37	放揮衛等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の思想 の軽重、こどもの最高の利益の優先考慮の動点を踏まえて、こどもや 事族の最終を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放揮後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放揮後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要	7	1		
R E	É	な助肌と支援を行っているか。  ②冊の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により。	-			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する場合を担ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を担ける等の支援をしているか。	3	5		
9	41	こどもや保護者からの高情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に同知し、高情があった場合に迅速かつ適切に対	8	0		
明等		応しているか。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ				
	42	<ol> <li>活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。</li> </ol>	8	0	・毎日プログを要新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分解釈しているか。	8	0		
	44	陪書のあるこどもや保護者との思思の疎通や情報伝達のための記憶を しているか。	8	0	<ul><li>- 模能支援を行っている。</li></ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を紹得する等、地域に関かれた事業適営を 関っているか。	4	5		
	46	事故的止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、係染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に関知するとともに、発	8	1	・定期的な遊覧回線、接着回線を行っている。	
		生を想定した訓練を実施しているか。 単務継続計画 (BCP) を策定するとともに、 非常災害の発生に備え、				
	47	定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的な遊覧訓練、接着訓練を行っている。	
	48	事務に、服業や予防疾性、てんかん角作等のこどもの状況を確認して いるか。	8	0	<ul><li>新規ご利用児童を迎えるにあたり、厳重やアレル ギーについて確認と共有を行っている。</li></ul>	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示者に基づく対応が されているか。	8	0	<ul><li>・軟塊ご利用児童を迎えるにあたり、施業やアレル ギーについて確認と共称を行っている。</li></ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を購じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計	7	0		
		画に基づく取扱内容について、家族等へ周知しているか。 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的点に向けた方策について検			・豊穣なことでも日々ビヤリハットを記録してい	
	52	<b>封をしているか</b> .	9	0	こ、いのイエドリハタトを記録してい る。	
		虚符を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	9	0		
	53	ているか。 どのような場合にやむを押ず身体拘束を行うかについて、組織的に決		Щ.		